



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2011. 第 54 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

もうすっかり暖かくなり、気がつけば5月・・・。

ご覧になられている皆様には、ゴールデンウィークがやってきますね。どちらかに行かれるご予約はありますか？

当店はゴールデンウィーク中も現場作業、営業業務ともども、通常通りやっております。(つまり、お休みは無しということです。でも、雨に降られたら現場作業はできませんね・・・。)

このゴールデンウィークは、紅葉丘のお客様の塗り替えをしていることでしょう。きっと・・・。

今年は比較的、春のお客様はお天気が続

いて、順調に進んでいるような気がします。今回のお客様も順調に、無事に済むようにがんばります！

■ 日本に現存する最古のローラーコースターに・・・



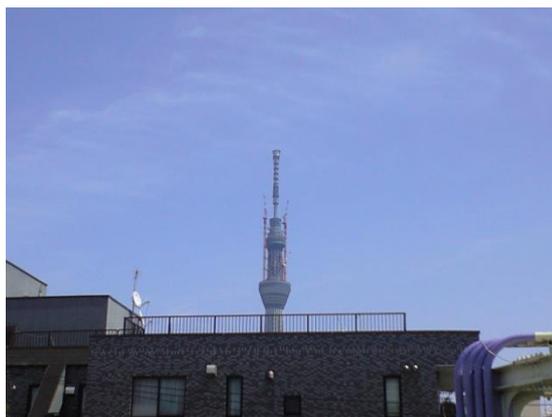
先日、一足早くお休みをいただき、浅草にある「花やしき」に行ってきました

実は以前から行く予定はあったのですが、ちょうど計画していた日あたりで、地震が・・・。計画停電によって電車がダイヤ通りでなかったり、向こうへ行っても、何かあったら・・・なんていう不安もあったりして・・・。そんな理由と、あとは私の業務の兼ね合いなんかもあったりして、そのころにはいけなくなってしまったんです。

少し落ち着いてきたのもあり、お休みも

とれそうだったので、ようやく実現しました。

この遊園地には「日本に現存する最古のローラーコースター」があり、私はそれに乗ろうと楽しみにしていたのですが、娘が怖い・・・ということで、あえなく却下・・・。そのほかの乗り物に乗ってきました。



(なんかちっちゃくてすみません・・・)

これ、かの有名な「東京スカイツリー」です。

肉眼で見るともう少し大きく見えるんですが・・・ファインダーに納めてしまうと小さくなってしまって・・・。

「自立式電波塔世界一」として634mの高さになるというスカイツリー。見ているとなんか堂々としていて、もうすっかりシンボルとしてそびえ立っているような気がしました。

当初は610mの予定だった高さが634mになったのは、東京の旧国名である「武蔵の国」とかけて、覚えていただけるようにということだそうですね。

完成したらぜひ行ってみたいと思いま

す・・・。



お世話になっております。
長坂利昭です。
今号もお読み頂きありがとうございます。

今号が皆様のお手元に届くのは、ゴールデンウィーク真っ只中の頃かと思います。

府中市のゴールデンウィークと言えば、大國魂神社の「くらやみ祭」で、皆様も出向かれることがあるかと思います。

今回は、改めて、この「大國魂神社」と「くらやみ祭」について調べてみました。

■大國魂神社の由来

西暦111年、^{すさのおのみこと}素戔嗚尊^{みこがみ}の御子神（子にあたる神様）である^{おおくにたまのおおかみ}大國魂大神を御祭神として創建されました。

歴史は進み、西暦645年大化の改新後、武蔵国が誕生し、この地に国府が置かれたことにより、大國魂神社は武蔵国の神社を統括する拠点となりました。昔は、政治と祭事は密接な関係であった訳ですね。

これにより、武蔵国の神社諸神を合わせ

てお祀りし、武蔵総社として、武蔵国を代表する神社となったそうです。

■大國魂神社のその後の歴史

西暦1051年、源頼義（源頼朝などの祖父）が社殿を南向きから北向きに改めました。一般的には、神社は太陽の方角である、南か東を向いているそうですが、東北地方を神威によって治めるという意味で、向きを北に改めたようです。以後、現在でも社殿は北向きのままになっています。方角はあまり気にしていませんでしたが、珍しい神社なんですね。

西暦1646年には、火災で社殿や重要文書などが焼失してしまったそうですが、1667年徳川家綱の命により、再度建立。

これが今日の社殿の基礎となり、何度かの修理により、現在に至っているそうです。

■くらやみ祭とは？

大國魂神社が創建された5月5日に例大祭を行う習慣になり、当夜には、八基の御輿が古式の行列を整え、消燈して闇夜の中、御旅所へ向け、神社を出発します。

このように闇夜の中で行われたことから、この大祭を「くらやみ祭」と呼ぶようになったそうです。

大祭中は、諸行事や神事も合わせて行われ、皆様ご存じの通り、例年4月30日か

ら5月6日の期間に行なわれています。

■今年のくらやみ祭は・・・

東日本大震災の影響で、御輿が出ない等、諸行事の一部変更・中止があるようです。

楽しみは少し減ってしまいますが、一日でも早く、被災地の復興が進み、原発の問題も解消する世の中になるようにと、参拝をする機会にしてみたいかがでしょうか？



※写真は、新しくなった隋神門です。

4月29日の竣工式に向け準備中でした。近付くと、木の良い香りがしていました。

<4月27日撮影>



■震災の影響①

さて、東日本大震災から1カ月以上が過ぎました。皆様も色々な考え、思い、体験をされた1カ月ではなかったでしょうか？

主婦の方々は、日々の家事に不便を感じる事が多かったでしょうし、お勤めされている方々は、通勤や業務にご苦労された事と思います。

そんな中で、私どもの「塗装」の仕事にも、多少の影響が出る結果となりました。

まず起きたのが、一時的な「ガソリン」不足の問題です。

塗料をはじめ、塗装工事に必要な資材・道具の運搬には、車が不可欠なので、ガソリン不足は死活問題です。

とは言っても、ガソリンが確保出来ずに、身動きが取れなくなることはありませんでしたので、おかげ様で、現場の作業に支障をきたすことはありませんでした。

■震災の影響②

続いて起きたのが、塗装に最も重要な材料「塗料」の不足です。

一部の塗料メーカーでは、北関東の工場において、生産ラインが被害を受け、製造・出荷が滞る事態になりました。

徐々に回復はしていますが、1カ月以上たった今でも、影響が残っているメーカーがあるようです。

しかし、こちらに関しても、当店では、お客様・代理店様・メーカー様のご協力もあり、必要な塗料は調達できておりますので、作業は滞ることなく、日々現場でお仕事をさせていただいております。

塗り替え工事をご検討中の方は、今後も、各方面からこのような影響をお耳にすることがあるかと思いますが、当店では、常に最新の情報、最良のご提案をさせていただきますので、ご安心いただき、ご検討をお続けくださいませ。宜しくお願い致します。

~~~~~

発行者 上神谷裕治 (かみかべやゆうじ)

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

<http://sansyouzi.seesaa.net/>

